



神田外語大学名誉教授（元学長） 故 石井米雄著『英語の語源』が 8 月 24 日に刊行～英語と外国語が身近になる本～

神田外語大学(千葉県美浜区/学長:宮内孝久)は石井米雄元学長(名誉教授)が学長在職中から大学のホームページに連載していたエッセイ「語源の楽しみ」をひとつにまとめた『英語の語源』を角川ソフィア文庫より 8 月 24 日に刊行しました。この『英語の語源』は 2011 年、出版社めこんより刊行された『語源の楽しみ』を改題し、文庫化したものです。

昨今の外国人訪日観光客の増加、国際的なスポーツイベントの開催、小学校英語科目の導入など、国内における「英語」への関心が高まっていることから、英語の語源を短い文章でわかりやすく説明している本書が文庫化されることとなりました。

本書は「spring に「春」「ばね」「泉」の異なる意味があるのは、なぜなのか」「B. C. と A. D. は何の略なのか」「シンポジウムは、もともと「飲み会」という意味だった」など、身近な単語の由来を掘り下げることで、英語の意外な歴史に触れるきっかけを作ると同時に、ポキャブラリーが芽づる式に増えていく記憶術としても活用できます。9 言語に精通する達人であった神田外語大学の石井米雄名誉教授のエッセイ全 113 話を収録しています。

石井米雄名誉教授は学長在職中であつた 2002 年 4 月から英語の語源を易しい言葉で解説したエッセイ「語源の楽しみ」の連載を大学のホームページでスタートし、学長退任後も連載を続けました。連載開始から 8 年間にわたり好評を博したが、石井名誉教授の急逝により 2010 年 2 月の第 118 話(※1)が最終回となりました。長年にわたり親しまれたエッセイは、「学生だけでなく、英語を学ぶできるだけ多くの人々にこの素敵なエッセイを読んでほしい」との願いを込めて、神田外語大学名誉教授の永井浩氏(国際関係論・東南アジア論)を発起人に、大学院教授の長谷川信子氏(理論言語学・英語学)、木川行央氏(方言学・日本語学)、准教授の飯島明子氏(生物学・環境科学)により、原文にはない各回の見出し、語彙リストなどを加えて、2011 年に出版社めこんからエッセイ集『語源の楽しみ』として出版されました。

同書は角川ソフィアにより『英語の語源』と改題、文庫化され、8 月 24 日に発売。全国書店や各種ネット通販で購入が可能です。

※1…原文の一部重複箇所を整理したため、本書は 113 話収録となっている。

◆書籍情報

書名：英語の語源

著者：石井 米雄

発行：株式会社 KADOKAWA (角川ソフィア文庫)

判型：文庫判・256 頁

ISBN：9784044004279

定価：本体 920 円+税

発売日：2018 年 8 月 24 日



◆石井米雄

1929 年、東京生まれ。東京外国語大学中退後、外務省に入省。在タイ日本国大使館勤務を経て、京都大学東南アジア研究センター教授、同所長、上智大学教授などを歴任。1997 年から 2004 年まで神田外語大学学長を務め、のち同大名誉教授。2010 年に急逝。



▼本件に関する報道関係の方の問い合わせ先

学校法人佐野学園 学園広報部 栗城

TEL: 03-3258-5837 (平日 9:30~17:30)

FAX: 03-5298-4123

MAIL: media@kandagaigo.ac.jp

